



●Answer

沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
 帰依 龍照(きえりゅうしょう)

Q 町が行う川の拡張工事に、持ち家の屋敷囲いの北の角がかかっており、角をつぶして水路を造る予定になっています。代々、屋敷の御願(ヤシチヌウグワン)などの御願をさせていただいていますが、工事が始まる前に、やるべきことがあるのではないかと思います。工事の無事や、その後も何事も起こりませんようにと心配ばかりしていません。ご指導のほど、よろしくお願いたします。また、町の工事となると、日取りなどは関係ないのでしょうか？

(西原町・Tさん)

A Tさん、大切な敷地の工事、さぞご心配なことでしょう。Tさんは、定期的にヤシチヌウグワンを行われているとのことですから、まずはご安心ください。沖縄のヤシチヌウグワンには、今回のような突発的に行われる敷地の工事の、地鎮祭のような要素も含まれていると考えられているからです。沖縄の年中行事には、このような事態を想定して、事前に報告を行うという意味合いもあるのだそうです。とはいっても、工事を行う前に、きちんと「ジーチヌカン(土地の神さま)

にウサゲ(お供えし)ておきたい」と思うなら、儀式や法要を司る専門の方(仏式の場合は住職や僧侶)に依頼するのが賢明かと思えます。

また、行政の工事であっても、地主からの日取りなどの要望には、常識的な範囲で応えてくれるのではないのでしょうか？ 実際、私のもとへも、行政の責任者の方から、「公園の樹木を伐採したいのですが、近隣のお墓の所有者から、日を選ぶように相談されました」といった問い合わせがあるのも事実です。

町の工事に協力するTさんの姿勢には、頭の下がる思いです。町の担当者や打ち合わせを行い、要望も伝えて、安心して進めていかれたらと思います。

Q ウチャトーのことで質問です。右左、どちらにお供えするのが正しいのですか？ わが家は、行事の前には、この話題で持ちきりになります。

(神奈川県・Kさん)

A ウチャトーは漢字で「御茶湯」と書きまします。「ウチャトー」をはじめ、中国から伝わったとされる慣習の多くは、漢字で書かれています。そしてその解釈には、「漢字釈(〓か

んじしゃく。文字の順番から言葉の意味を解釈する考え方)」と、「金銀釈(〓きんぎんしゃく。色彩から意味を解釈する考え方)」があるようです。

漢字釈では、「先に書かれている漢字が上座」とされています。「ウチャトー」は「御茶湯」は、「茶」が「湯」よりも先にあるので、お茶は、上座である「グソーヌヒジヤイ(後生から見た左側)」「(〓私たちから見た右側)にお供えするのが正しい」ということとなります。複数の茶碗やグラスを使用する場合は、こちらから見た右側から、次の順に置きましょう。3つのときは「お茶・お酒・お水」、4つの場合は「お茶・お酒・お水・お茶」、5つなら「お茶・お水・お

酒・お水・お茶」の順に。金銀釈では、お茶を「クガニム(金色)」、お酒やお水を「ナンジヤムン(銀色)」と考え、金・銀を交互に置く慣習があります。「お酒とお水」を一つの「銀」とみなすので、置き方は、漢字釈とまったく同じとなります。また、お水と書きましたが、「御茶湯」の漢字を見ると、「ト」は「湯」です。このことから、沖縄の年中行事に詳しい方は、お水ではなく白湯(さゆ)をお供えなさってください。参考

切り取ってお仏壇のそばに置いておけば、
 迷わなくていいはずね～



イラスト：帰依ひろ子